



道 歯 技 広 報

The Bulletin of the Hokkaido Dental Technologists Association

2015 Winter No.5

Contents

- 巻頭言「[還暦]に今想う」
- 学術「基本概念に基づいた RPD による補綴設計の提案」、「会員研究発表の募集」
「歯周病の原因」
- お知らせ：平成27年度 第1回歯科技工技術研修会
歯科技工用語手話研修会「見える話～歯科技工における手話～」
- 第144回北海道歯科技工学術研修会報告
公益社団法人北海道歯科技工士会主催「'15歯科技工ガイダンス」報告
第145回北海道歯科技工学術研修会報告、第68回北海道歯科学術大会報告
厚生労働大臣表彰ならびに日技会長表彰報告、見える話
- 理事会報告

P C用ホームページ <http://www.dougi.or.jp/top.html>

携帯用ホームページ <http://www.dougi.or.jp/keitai.html>

巻頭言

『「還暦」に今想う』

昭和30年歯科技工士法が制定され、それと機を同じくして北海道歯科技工士会も創立され60年の歳月が流れました。

折しも、私も昭和30年生まれです。厳しい環境下で混迷する社会であっても、人と人との温もりのある時代を共に過ごした事に縁（えにし）を感じます。「光陰矢のごとし」あっという間に還暦です。

今デジタル化が進みスマートフォンが流行り、人と人との関係が希薄になっているように感じます。昔は貧しいながらも、心は満ち足りたように思います。

古き良き昭和の時代、みんなで遊び、喧嘩して仲直り、分け合い、かばい合う、人の気持ちを理解し痛みを分かち合える。そのような事で、人と人との知り合い、色々なことを学び合い、そして助け合える。この「3合いの精神」こそが、「歯科技工士会の原点」存在意義だと思います。

北海道歯科技工士会は創立60周年を迎えました。

先達60年の足跡を糧として「今有るべき姿」を残して頂いた事に感謝致します。

これからの北海道歯科技工士会の取り組みとして、

卓越した技術の継続こそが将来に貢献するものと考え、常に社会や技術の今有るべき姿を認識して、社会の中でその能力をどのように発揮できるかを自ら考え実践していく事が重要だと思います。

また会員一人一人が歯科技工士会の重要性を多方面で考え、「創造と価値」を構築し、主体性を持って継続することが、今のこの閉塞感を打ち破るアプローチとなります。

私自身に対しては、北海道歯科技工士会を自信と誇りの持てるような環境にして、さらに夢と希望を持てるように「舵取りをしなければならない」との戒めがあります。

最後に私の好きな禅語の一つを紹介します。

『日々新又日新』

（一日一日を一所懸命生ききり 昨日は昨日、明日は明日 新しい今日（今）を大事にする事。）

今年ももう少し、体に気をつけて頑張って行きましょう。



●● 基本概念に基づいた RPD による補綴設計の提案 ●●

株式会社札幌メディカルラボ 足立 俊哉

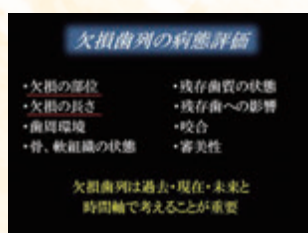
臨床に携わり16年が過ぎ、日を重ねるごとに基本の大切さを痛感しています。20代後半から歯科医師との打ち合わせが少しずつ増えていき、治療への知識や理解の無さから、積極的に治療計画に参加できないという苦い経験がありました。現在では、「補綴設計提案書」というツールを使い、歯科医師とのコミュニケーションをとっています。しかし、必要な情報が必ずしも歯科医師から伝えられる訳ではなく、模型から情報を読み取る事も多々あります。今回は模型からの情報を元に、基本概念に基づいた補綴設計をまとめました。

● 基本概念

・欠損歯列と欠損補綴の区別



・欠損歯列の病態評価



模型の情報のみから解るのは欠損の部位と長さである。

・RPDの目的



・RPDの力学的6要素



特に取り囲み (encirclement) は義歯の安定に重要である。

・レスト



遊離端欠損の場合、遠心より近心レストの方が咬合圧を歯牙の長軸方向に伝える事ができる。

・二次性連結固定



・サベイドクラウン



クロスアーチスプリントにより鉤間線を多角化し義歯を安定させる義歯の着脱方向に合わせて軸壁が形成されたクラウン。

・リテーナー



●補綴設計



・評価

Kennedy の分類 1 級

Eichner の分類 B2

宮地の咬合三角 第2エリア（多数歯欠損）

・力のリスク



口蓋隆起→ブラキシズムの可能性



咬合平面の乱れ→パーティカルストップの欠落による下顎4の圧下



フレアアウト→咬合高径の低下による下顎前歯の突き上げ

・問題点

エーカース鉤＋メタルアップによる鉤歯への負担は？
摩耗した人工歯咬合面形態での咬頭嵌合位の安定は？
前処置は？

プロビジョナルは？

ブラキシズムへの対応は？

・補綴設計提案書



●求められる事

当然の事ながら、模型のみの情報だけで補綴設計は考えられません。しかし知識と考える力があれば、口腔内からの僅かなサインに気付く事ができます。その情報を基に今回のような仮説を立て、様々な提案ができれば、歯科医師との補綴設計もスムーズに進められるのではないのでしょうか。補綴設計書を通して共通のゴールをイメージできるのは、治療を進める上で大きなアドバンテージになるのは言うまでもありません。今後は歯科治療を理解した技工士が求められるのではないのでしょうか。歯科医師に求められる歯科技工士を目指し、今後も精進していきたいと思います。

会員研究発表の募集

下記の学術大会での会員研究発表を募集します。

「第61回 北海道歯科技工学術大会」

場 所：北広島市

期 日：平成28年9月24日(土)予定

講 演 料：五千元

広報掲載原稿料：五千元

.....
〈お問い合わせ〉

〒001-0037 札幌市北区北37条西4丁目3-8

公益社団法人 北海道歯科技工士会

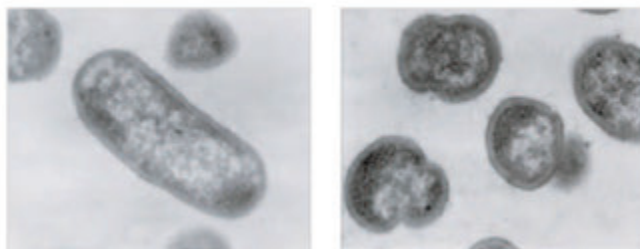
TEL 011 (717) 7155

FAX 011 (717) 6954

『歯周病の原因』

歯周病をまねく細菌

歯周病原性細菌の一種: *P. gingivalis*



写真提供：東京医科歯科大学大学院 歯周病学分野准教授 渡辺久先生

歯周病のおもな原因は、プラーク中に含まれる細菌です。一口に細菌といっても、歯周病をひきおこす細菌ばかりではありません。

しかし、歯周病についてはさまざまな細菌が関連していると言われ、その特定は難しいといわれてきましたが、近年の研究により、関連深い細菌がわかってきました。

その中には、歯周病に限らず全身的な疾患にも関連するものもわかってきており、歯科に限らず医療全体で注目されつつあります。

歯周病の原因の多くは、空気を嫌う運動性の細菌です。プラークがたまっていくとその中で、空気に触れにくい深部へと移動していくのです。そのため、目に見えるプラークよりも歯肉のフチより下、歯肉と歯の間の溝（歯肉溝）や歯周ポケット（歯周炎により歯肉溝がより深くなったもの）の中などに多く棲息しています。

これらは、毒素を持ち炎症を誘発します。上皮や血管の内側から細胞内に侵入できる細菌もあり、これによって口の中だけでなく、全身に影響を及ぼすことが多くの研究からわかってきています。

歯周病を防ぐということは、歯を失わない、ということだけでなく、全身の健康を守るためにも非常に重要です。

生体の防御

人間の生体の防御のために特殊に進化した細胞群が白血球です。

私たちの生体防御は、この白血球によって行われています。白血球は、自律神経によってその分布などが支配されています。白血球が過剰になると常在菌（いつもいる細菌）にも反応してしまい、粘膜などの炎症を引き起こします。

少しむずかしい表現になってしまいましたが、すなわち自律神経に作用するストレスや疲労、加齢といったものが普段はなんともないような刺激（この場合いつも口にいる細菌）でも炎症を引き起こす要因となるのです。

このしくみは、歯周病に限らず、胃潰瘍や膵炎、腎炎、子宮内膜症、大腸炎などの粘膜系の疾患を引き起こします。胃潰瘍とストレスの関係は皆さんもよくご存知なのではないでしょうか。

そのほか、免疫に関わる全身性の疾患も大きく関連しています。なかでも、糖尿病と歯周病との因果関係は非常に深く、糖尿病の合併症のひとつとして捉えられています。

生活習慣と環境

歯周病は、特定の細菌が関与する感染症ですが、生活習慣病としての側面も併せ持ちます。

生活習慣病といえば、糖尿病や高脂血症、高血圧が有名ですが、これらは日常生活の乱れや栄養、カロリーなど無視した食生活、喫煙などを続け、そこにストレスや体質などの要因が加わり発症するといわれています。

歯周病においても、細菌感染のみならず、喫煙や食生活、歯みがき習慣、そして前述したストレスや加齢といった環境的な因子が複雑に関連して起こります。

(MI21.net)

お知らせ

●● 平成27年度 第1回歯科技工技術研修会 ●●

日 時：平成28年1月30日(土) 13:30～

場 所：札幌サンプラザ 札幌市北区北24条西5丁目

講演Ⅰ：「在宅訪問診療の現場から歯科技工士への提言」(仮)

講 師：小林 國彦 先生

講演Ⅱ：「アンガーマネジメントで感情コントロール」(仮)

－ 怒り・イライラを整理する －

講 師：長谷川久美子 先生

●● 歯科技工用語手話研修会 「見える話～歯科技工における手話～」 ●●

※この研修会は、視覚情報でより分かりやすく、いつでも、どこでも、だれとでも専門的内容をスムーズにやり取り(コミュニケーション)できることを目指し企画しました。(～2017年3月まで、月1～2回開催)

北海道歯科技工士会館において第1回(10月17日参加11名)、第2回(10月31日参加8名)を開催し、両日とも北海道デフ歯科技工士協議会から2名の協力をいただきました。歯科関係者と一般の方の参加がありましたので、見える言葉は視線を合わせることから自己紹介表現、指文字(あ～んの50音の表現)を行いました。手話を知っている方には物足りなかったかも知れませんが、これから手話を覚えようとしている方に

は、覚えることがたくさんあり、大変だったと思います。でも、専門用語になれば、その内容を理解している歯科技工士の方には楽勝なのです。慣れるまで少々お付き合ってください。継続は力なりです。

「いつでも、どこでも、だれとでも」を実現させるために、皆さんの参加をお待ちしています。(参加対象者は歯科技工士、歯科関係者、歯科技工に興味のある方々ですので、皆様の周りの方にもお知らせいただければ幸いです。)

事前の参加申し込み・開催日の確認は、下記まで連絡ください。

北海道歯科技工士会館

(TEL: 011-717-7155・FAX: 011-717-6954)

研修日程

第3回 11月29日(日) 障がい歯科技工士研修会(専門用語手話通訳の見学)・**済**

場所：吉田学園医療歯科専門学校

第4回 12月6日(日) 10:00～12:00

場所：北海道歯科技工士会館・**済**

第5回 1月9日(土) 19:00～20:30

場所：北海道歯科技工士会館3階

第6回 2月6日(土) 19:00～20:30

場所：北海道歯科技工士会館3階

第7回 3月5日(土) 19:00～20:30

場所：北海道歯科技工士会館3階



● ● 第144回北海道歯科技工学術研修会報告 ● ●

理事 濱本 範俊

さる7月4日(土)ホテル三浦華園〔滝川市〕で第144回北海道歯科技工学術研修会が開催され、アロマテラピースクール Grasse 主宰 早川舞先生より『ビジネスに役立つアロマテラピー』、日本橋梶村歯科医院 理事長 梶村幸市先生より『CAD/CAMを用いた補てつ物の特徴と注意点』・『トップダウントリートメントの為の抜歯即時インプラント』のご講演をいただきました。

早川舞先生からは、アロマショップに勤務され、お客様へのアドバイスや手作り化粧品の考案、スクール運営などの経験から、アロマテラピーの素晴らしさをご講演いただきました。

近年アロマテラピーは、女性だけにとどまらず、ビジネス、スポーツの場や、子供への「香育」、病院や介護施設のケア方法の一つとしてなど、様々なシーンで注目されています。

ストレス社会と言われる現代人のライフスタイルを、植物の力であるアロマテラピーによって、より豊かなものにできるのではないかと感じました。

梶村幸市先生からは、急速に普及してきている、CAD/CAMによって製作された補綴物の特性や臨床操作方法などや、トップダウントリートメント（補綴主導型治療）を実現するためのインプラント治療など

についてご講演いただきました。

CAD/CAMによる補綴物は、クラウンブリッジ補綴だけにとどまらず、インプラント補綴の領域においても第一選択になってきています。その反面、ロストワックス法によって製作される、鑄造冠にはなかった脱落などのトラブルも散見します。このようなトラブルにならない為にも、補綴物の製作過程における違いなどを正しく理解し、正しい臨床操作を行うことの大切さを考えさせられました。

また、インプラント治療においては、吸収した残存骨や顎堤形態、粘膜の厚みなどによりインプラントの埋入ポジションが制限されることが多く、結果として良好な審美性や清掃性を回復できないこともあります。シミレーションソフトの発展により、以前よりは診断がしやすくなっていますが、いまだ十分ではありません。トップダウントリートメント（補綴主導型治療）を実現するためには、いかに術者の連携が大切であるかということと、我々歯科技工士の知識や技術が、治療の成功を大きく左右するのだということを感じました。

最後になりましたが、今回ご協力していただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

● ● 公益社団法人北海道歯科技工士会主催 「'15歯科技工ガイダンス」報告 ● ●

常務理事 西川 圭吾

平成27年7月21日(月)午後1時40分より4時30分まで、公益社団法人北海道歯科技工士会主催の「'15歯科技工ガイダンス」が「札幌サンプラザ」において開催されました。

この催しは、毎年7月下旬に道内歯科技工士養成校の就職希望者を対象に、就職試験に対するマナーや就職時に必要な心構えと、職業としての歯科技工について、経験者から提言などを講習しております。

当日の会場は、初々しいリクルート姿の学生82名(歯科技工士養成機関3校)の活気にあふれる中、北海道歯科技工士の八重樫会長の挨拶から始まり、基調講演では「歯科技工士の役割」と題して戸島副会長が公益社団法人日本歯科技工士の活動と本会への入会促進を丁寧に示説されました。

次に、日本礼法会教授で数々の大手企業で研修講師

として、ビジネスマナーの講演をされています高名な長谷川久美子氏より「就職に向けてのマナーと心構え」についての講演が行われました。ご自身の経歴等を交えて、緊張する学生をリラックスさせ、学生の立場に



立った目線からの説得力のある、歯切れのよい説明をされました。さらに、3校が入り混じっての就職時の面接を想定した模擬練習を行うことで、学生にとって今後の就職活動に役立つ有意義で素晴らしい講演でした。

最後に、株式会社札幌デンタル・ラボラトリーに勤務されています古田都彦氏による「歯科技工士のやりがいと今後の可能性について」と題して歯科技工士という職業の魅力、社会人としての必須項目について、そして自分の価値を高めるための方策等を噛み砕いてお話されました。古田講師は「一社会人として立派な歯科技工士に育てたい」という熱い思いを、経験を踏まえて、説得力のある、お話しであったため、言葉に重みがあり、心に響く講演でした。

このガイダンス後の夏休みには会社見学が行われ、その後、就職活動が始まります。限られた短い時間のガイダンスではありましたが、学生の皆さんにとっては今後の就職活動や社会人としての資質を向上させる上でも、有意義な講演であったと思っております。毎年ですが、今回の企画で得られたことが、参加された学生の皆様にとって、実りあるものになることを祈念しております。



● ● 第145回北海道歯科技工学術研修会報告 ● ●

理事 濱本 範俊

さる9月12日(土)室蘭プリンスホテル〔室蘭市〕で第145回北海道歯科技工学術研修会が開催され、株式会社札幌メディカルラボ 代表取締役社長 箕輪雅宏先生より『これからの未来へ「想像と創造」』、Dental Labor GmbH Gross 高瀬直先生より『歯牙形態学の実際』のご講演をいただきました。

箕輪雅宏先生からは、歯科技工士がおかれている厳しい現状の中でも、見方や捉え方を変えていかに想像的に生きていくか、肯定的に考えるかについてのご講演でした。

歯科技工士養成学校の閉校や閉科、男性歯科技工士の減少、女性歯科技工士の増加、若年歯科技工士の離職、就業歯科技工士の高齢化など、我々の業界の環境は日々厳しい状況へと変化しており、新しい形の業界構造への変化を必要としています。

今の現状を悲観的に捉えるのではなく、肯定的に解釈しながら歯科技工業界の新しい形を創造し挑戦していくことが重要になります。変わることでより変わらないことの方がリスクになる時代です。歯科技工業界の固定観念だけに捕われず、俯瞰し明るい業界の未来を創造することが必要だと考えさせられました。

高瀬直先生からは、歯型彫刻の意義や重要性だけで

なく、歯牙形態の捉え方、再現の仕方など、臨床応用に焦点を当てたご講演でした。

我々の仕事の目標は、患者の口腔の失われた機能あるいは審美性を回復し、幸せになってもらうことです。歯科技工士にとって、歯型彫刻とは全ての基盤となるトレーニングであり、学生時代には積極的に取り組んできました。しかし、国家資格取得後は臨床経験年数と歯型彫刻の機会は反比例します。実際、臨床経験年数が長い歯科技工士ほどオリジナルな形態になりがちで、解剖学的な歯牙形態からは離れていってしまっている様にも感じられます。

歯型彫刻とはさながらアスリートにとっての筋肉トレーニングに等しいものであり、永続的な修練によって得られる臨床技工力は想像を超えるものがあります。

解剖学的な歯牙の形態が歯周組織を守り、咬合を安定させ、顎関節を正常に機能させる事が既知の事実であるならば、歯型彫刻の訓練は直接的に患者の健康に寄与すると考えられます。

最後になりましたが、今回ご協力していただきました皆様に心よりお礼申し上げます。

● ● 第68回北海道歯科学術大会報告 ● ●

常務理事 堀江 成達

さる8月22日(土)・23日(日)札幌パークホテル〔札幌市中央区〕で第68回北海道歯科学術大会が開催され、社団法人北海道歯科医師会よりDTテーブルクリニックの講師の要請があり、当会から理事の濱本範俊が「歯科用CAD/CAM装置の基礎的使用方法と臨床使用例について ～保険適用CAD/CAM冠から審美補綴まで～」のテーマで発表しました。

CAD/CAMを用いた歯科技工は年々増加しており、ハイブリットレジン冠が健康保険導入され、今後その傾向は変わることはありません。CAD/CAMはジルコニアの加工に歯科に導入され、最初のジルコニアは白色不透明で色調に問題がありましたが、現在はイットリアを増加させて透明性や弾性をもった製品も発売され、今後その使用はデンチャーにも広がります。

さてCAD/CAMとは、3Dスキャナーで模型を読み込んでPC上で設計するCADシステムと、CADで設計したデーターを加工用のSTLデーターに変換するPCならびに切削加工する加工機からなるCAMシステムとなります。

このシステムの利点は、同じものが複数回製作できる、反転機能を用いて左右側に同一形態のものが製作できる、前装冠では前装スペースを数値で決定できるなど、セメントスペースや側方運動時の接触範囲を決定できるなど、デジタルならではのものがあります。

しかしに万能と思えるCAD/CAMですが、その特性から現在のアナログ技工とは異なったものがあり、STLデーターを切削加工するためマージンには

角があり、ハイブリットレジン冠は完全重合ブロックから削りだすためにフィラーと接着する必要があります。

今後、歯科技工士の不足が予想されますが、CAD/CAMを用いて不足する人員を補っていくことが必要だと考えています。



● ● 厚生労働大臣表彰ならびに 日技会長表彰報告 ● ●

10月17日(土)、ソラリア西鉄ホテル(福岡市)で開催された「歯科技工士法制定および日本歯科技工士会創立60周年地域交流記念大会」において、本会から厚生

労働大臣表彰に大澤孝さんと下澤正樹さんが、日技会長表彰に東賢さんと嘉村正さんが受賞されました。おめでとうございます。



● ● 見える話 ● ●

常務理事 工藤三重子

「歯科技工に関わる手話」

専門用語の手話は、日常的な手話と指文字(あ〜んの50音を表現したもの)の組み合わせで表現すること

が多く、次の「硬質レジン」は手話と指文字の組み合わせ、「金属床」は手話と形状で表します。

1. 硬質レジン



硬質(口形: コウシツ)
5本の手指に力を入れて
曲げ、やや前方に出す(手
話→硬い)
※「質」の手話もあるが
この時は表現しない。



歯(口形: レジン)
指文字の「レ」人差し指
と親指で表現
※カタカナのレの形に似
ているでしょう

2. 金属床



金属(口形: キンゾク)
人差し指と親指で丸を作り、
手首を45度外側にひねる。
(手話→金、お金、
金曜日)



床(口形: ショウ)
下に向けた掌を、床の面
形状をイメージして出し
た手の反対側から弧を描く。

● ● 理 事 会 報 告 ● ●

● ● 平成27年度第2回理事会報告 ● ●

■日 時：平成27年5月9日(土)
■場 所：北海道歯科技工士会館

1. 理事の役職

第2回社員総会にて承認された理事の役職を決定した。

● ● 平成27年度第3回理事会報告 ● ●

■日 時：平成27年6月6日(土) 18:00~19:00
■場 所：北海道歯科技工士会館

1. 会長挨拶

今後の会務運営にあたり各自の業務内容の理解と把握に努めて欲しい旨、挨拶があった。

2. 承認事項

- (1)事業および派遣役員承認の件【承認】
(2)平成27年度第1回ブロック学術委員会議事日程(案)承認の件【承認】

道内4ブロックの説明ならびに学術大会・学術研修会・技術研修会の説明があり、各種経費、講師選定、日技生涯研修単位取得の説明。平成28年度北海道障がい者歯科技工士研修事業についての説明。

3. 報告事項

(1)職務執行状況の報告

- ①公益目的事業について、会の目的と事業内容等について説明および業務執行体制の説明。
- ②5月9日に開催された第2回社員総会議事録を法務局に提出した旨報告。
- ③60周年各種表彰者推薦委員会を5月30日に北海道歯科技工士会館に於いて表彰者規程に則って地域歯科技工士の案内を発送する委員会を開催。返答は6月30日までとなっており、7月11日に検討する旨、報告。
- ④60周年記念誌編集委員会を5月30日に第1回編集委員会を開催し、委員長には千歳支部会の板野氏を選出。第2回編集委員会は8月22日に開催予定で、詳細は次回の理事会で報告。
- ⑤60周年の記念誌製作は、9月5日の準備委員会で詳細を明らかにする旨報告。今回の記念大会も前回同様にサブタイトルを付け、次回の理事会で検討。
- ⑥北海道庁からの補助金の交付は平成27年度の事業に対して交付され、交付予定額の報告。
- ⑦道内11団体で構成している北海道医療技術者連絡協議会の事業内容と第1回理事会の報告。

(2)生涯研修

- ①144回北海道歯科技工学術研修会は7月4日(土)道北ブロック担当で開催。この研修会は一般公開する旨報告。今後も簡単なアンケートを継続し、今後の研修会等の指標とする提案があり、内容を検討して今後も継続。
- ②平成27年度第1回北海道障がい者歯科技工士研修会についての報告。
- ③第68回北海道歯科学術大会におけるDTテーブルクリニックの日時・会場等ならびに発表内容等の報告。
- ④第145回北海道歯科技工学術研修会の日時・会場等ならびに依頼講師の報告。

(3)広報に関する報告

- ①広報4号のページレイアウト、製作日程ならびに担当者等の報告。

(4)総務に関する報告

- ①新役員の役割についての報告
- ②理事会議事録は当日の議長が記載した後、J-mottoにて回覧して追加・修正等を行い、次回の理事会資料となる旨報告。
- ③J-mottoの運用について新役員に対してPCの設定を説明し、今後の会務連絡ならびに資料等の配布・確認等は、J-mottoを運用する旨報告。

(5)財務に関する報告

- ①5月末までの予算執行状況の報告。

(6)法規に関する報告

(7)就労対策に関する報告

- ①5月末の会員数状況、平成27年度入退会者数の報告。
- ②'15歯科技工ガイダンス事業内容の報告、集合時間ならびに業務分担等の確認。
- (8)その他の報告
 - ①日本歯科技工士会 第4回社員総会の要望事項の報告。
 - ②北海道庁より補助金が決定額の通知の報告。
 - ③名義後援、研究協力ならびに調査協力の報告。
 - ④「新卒者入会推進費」ならびに「組織拡充事業支援金」決定の報告。

● ● 平成27年度第4回理事会報告 ● ●

■日 時：平成27年9月5日(土) 18:00~19:00
■場 所：北海道歯科技工士会館1階会議室

1. 会長挨拶

事業が続く中、各自協力して会務に当たってほしい旨、挨拶があった。

2. 承認事項

- (1)事業及び派遣役員承認の件【承認】
(2)「日技指定研修」開催承認の件【承認】
公益法人日本歯科技工士会より、2015年度の「日技指定研修」の開催意向の回答依頼が説明され、審議の結果、12月5日(土)を開催日として希望することが出席理事全員一致で可決。

3. 報告事項

(1)職務執行状況

- ①道技創立60周年各種表彰者推薦委員会より、各地域歯科技工士会から推薦された表彰者の状況および表彰者決定に伴う各種通知書類の説明。
- ②道技創立60周年記念誌編集委員会より、8月22日に開催された第2回編集委員会の進捗状況が報告。
- ③道技創立60周年記念大会準備委員会より、60周年記念祝賀会への招待予定者の報告、60周年記念大会及び記念祝賀会の収支予算案の報告。
- ④平成27年度医療技術者連絡協議会パネル展のアンケートの集計結果の報告。
- ⑤平成28年度各部事業計画(案)についての報告。

(2)生涯研修に関する報告

- ①第144回北海道歯科技工学術研修会は滝川市にて7月4日(土)に実施、決算報告及び頼末書の報告。
- ②第145回北海道歯科技工学術研修会(室蘭市)の旅の報告。
- ③平成27年度第1回北海道障がい者歯科技工士研修会は、第144回北海道歯科技工学術研修会と併催され頼末書の報告。
- ④10月17日(土)に開催された第1回手話研修(道技会館)の報告。
- ⑤公益社団法人日本歯科技工士会により新たに発行される歯科技工士生涯研修カードの説明、今後の運用スケジュールの説明。

(3)広報に関する報告

- ①広報誌のページレイアウトについての確認とホームページの更新状況についての報告。

(4)受託技工に関する報告

- ①各研修会等において時局報告を行ったこと、および「厚生労働大臣告示」遵守文章を11月6日に発翰する予定である旨、報告。

(5)総務に関する報告

- ①道技第3回社員総会代議員選挙管理委員会の設置について、各資料を基に今後のスケジュール等の説明。

(6)財務に関する報告

- ①8月期の予算執行状況に説明。

(7)就労対策に関する報告

- ①8月末組織現況および8月末入退会者について報告。
- ②各地域技工士会より提出されている組織拡充支援金の申請状況について報告。
- ③7月20日に札幌サンプラザに於いて実施された、2015歯科技工ガイダンスの報告。

(8)その他の報告

- ①第23回日本歯科医療管理学会北海道支部学術大会の報告
- ②日本歯科衛生学会第10回学術大会、懇親会の報告
- ③鍼灸師会「道・市民公開講座」の報告